

●設備健康診断とは？

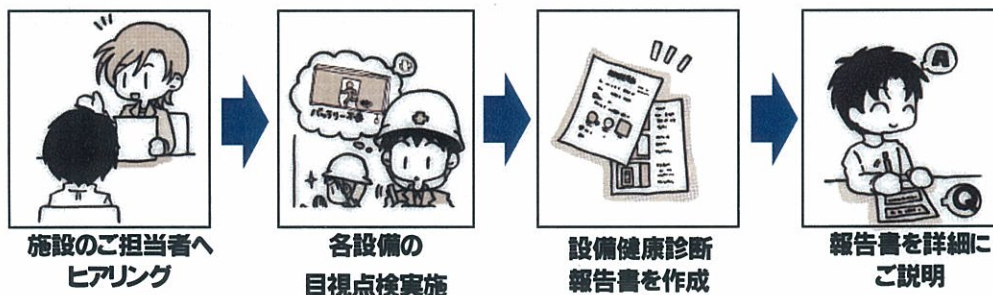
フィデスではお客様が『いつでも、いつまでも』ご安心して安全に施設をお使いいただけますよう、無料にて電気・空調・給排水衛生の設備点検と簡易劣化診断を実施し、お客様宛に「設備健康診断報告書」を提出させていただきます。

お客様施設の設備耐用年数や状態を調査・診断し、改善策などをご提案致します。建築設備のリスク回避や保全計画にご活用いただければ幸いです。

ご要望などございましたらご相談下します様、よろしくお願い致します。

●設備健康診断の流れ

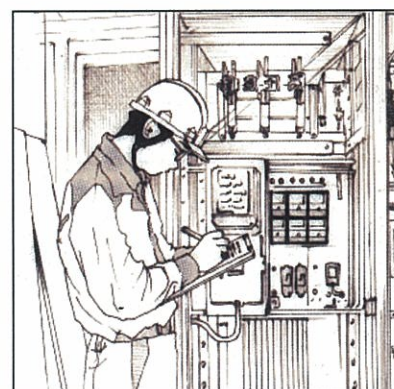
ご依頼があったお客様へ電話やメールで訪問日を打ち合わせし、診断をする施設へヒアリング担当者と設備点検担当者が訪問いたします。ヒアリング担当者はお客様へ施設についていくつかのご質問をいたします。設備点検担当者はお客様の各設備の目視点検をいたします。調査した内容や改善推奨箇所を細かく記載した「設備健康診断報告書」を作成し、後日改めてご説明にお伺いします。保全計画、更新の目安、日常メンテナンス、定期点検など、何なりとご相談ください。



●お客様の感想から

これまで設備健康診断を実施した中から、アンケートにお答えいただいたお客様の感想をいくつかご紹介いたします。

- ・ 専門家のアドバイスにより我々素人では気付かない課題が見つかりました。設備の事はわからない事が多いので定期的に点検していただくと大変助かります。(店舗社長H様)
- ・ 単に指摘するだけでなく、文書での報告や、具体的な指示をもらったので助かりました。(特別養護老人ホーム事務長K様)
- ・ 工場内の日常気付きにくい点まで指摘頂きました。再度見直したい。(製造業工場長T様)



電気設備機器の耐用年数と更新目安

	品名	法定耐用年数	更新目安
1	断路器	15年	20年
2	遮断器(OCB、VCB)	15年	20年
3	開閉器(OS,AS)	15年	20年
4	VT、CT	15年	20年
5	変圧器	15年	20～30年
6	進相コンデンサ	15年	20年
7	直列リアクトル	15年	20年
8	避雷器	15年	20年
9	自家発電	エンジン	20～30年
		発電機	20～30年
		起動装置	20～30年
10	蓄電器	鉛	7～15年
		アルカリ	10～15年
	整流器	15年	15～20年
11	キュービクル	—	20年
12	配管	—	15～30年
13	配線	—	15～20年
14	バスダクト	—	20～30年
15	分電盤、制御盤	15年	15～30年
16	中央監視盤	15年	10～20年
17	照明器具	安定期	15年
		ランプ(白熱)	—
		ランプ(蛍光)	—
		ランプ(水銀)	—
		器具本体	—
18	誘導灯	器具本体	10年
		内蔵バッテリー	5年
19	配線器具	—	10～20年
20	弱電設備	～15年	20年